

2016 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [兵庫県立芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [小田 祥平] (3年A組 39名)

相手国・地域 [アメリカ]

海外学校名 [John Adams Middle School] 担当教諭名 [Jennifer Joyce]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	道徳	多文化共生	6
	総合的な学習の時間	多文化共生	6

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	移民
メッセージ (相手と一緒に 絵に込めた想い)	移民問題を調べる中で出てきた民族間の摩擦や、他民族との融和など、過去、そして今ある現状を踏まえ、未来はこうあってほしいという希望を込めた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> あまり深く考えたり話し合ったりしたことのないテーマであり、調べるにつれ、気分が沈んでいく部分も見取れたが、よい点も見ることができ、これからあるべき世界を再認識することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 時差があるため、スカイプなどを使用しての直接のやり取りができなかった。 こちらが発信したものに対して、合わせてビデオなど発信してくれたが、テーマ学習については相手の学びが見て取れなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 初めは、外国の中では情報の多いアメリカということで、普通に交流を楽しもうという感覚であった。 ビデオメッセージなどの交換を重ねるにつれ、学校の様子の違いや、同世代の雰囲気の違いなど、たくさんを感じとることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 教員同士でのメールのやり取りを進める中で、少しずつ、会話がしやすくなっているように感じた。 難しい話題については、言葉の端々のニュアンスがきちんと伝わっているのか不安になる面もあったが、全体を通してみると、こちらの投稿に対して相手の投稿があると嬉しく感じるという生徒と同じ感覚を持った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月 9月	委員、班員の決定、テーマの決定を行った。自己紹介をビデオメッセージで行った。	これからどんな活動になるのか、不安と楽しみが入り混じっていた。メッセージを考える際は、相手のことを考えることができている班とそうでない班に分かれた。	総合2
共有 テーマ学習	9月 10月	学習テーマを「環境」から「移民」に変更した。各班が違うアプローチでサーチ、学習を進めた。それぞれに学習したものをフォーラムを通して発表した。	テーマを変えることに対して、普段あまり考えないテーマであったため、少し戸惑いが見られた。また、調べを進める中で、気持ちがダウンする内容が多い現実がっかりもしていた。	道徳3
融合 メッセージ 壁画デザイン	10月	学んだことから、発信したいことを言葉でまず書き出し、その後、絵にしたらどうなるかを考えた。過去、現在をへて、未来へつながることを考えた。	過去、現在の現実から、明るい未来を見据えることの大切さをまで、自分たちでメッセージを盛り込むことができ、異文化理解を深めることができた。	道徳3 放課後
創造 壁画制作	11月 12月	下書き、色塗り。相手校とすり合わせをしたのち、すぐに全員で分担を決めて取り掛かった。	美術の得意な生徒を中心に、クラス全員で取り組むことができた。出来上がっていくにつれ、早く完成した絵が見たいと感じるようになった。	総合3 放課後
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	クリスマスプレゼント、写真やメッセージのやり取り。壁画を鑑賞し、この活動を通して得たことを振り返った。	思いもよらないことで、一層、相手を想う気持ちを強くした。お互いのメッセージを、うまく取り入れた壁画になっていた。	総合1

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	自国の文化について、相手が知りたいことを改めて知ることができた。
異文化の理解	A	4	相手からのメッセージにより、より一層ができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	相手のことを考えた、工夫をする様子が見られた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	分かりやすいムービーや写真を発信できた。
人間関係をつくる (学級内・海外の相手)	B	5	直接話したいと思えるほど、楽しく交流できた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	得意なことも苦手なことも班内で協力できた。
学習を追究する意欲	B	3	なかなか難しいテーマであったため、学習を進めるのが難しいこともあった。
表現力 (伝えたいことを言葉・絵で表す)	B	4	生徒の得意なことを生かし、伝えたいことは、ビデオメッセージや壁画を通して伝えることができた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	B	5	相手の取り組みにしっかり共感できた。

